

様式P

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
中津市地域	中津市	平成30年～令和4年	平成30年～令和4年

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成28年度)	目標 (割合※1) (令和5年度) A	実績 (割合※1) (令和5年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	10,260 t	9,731 t (-5.2%)	7,534 t (-26.6%)	511.5%
	1 事業所当たりの排出量	2.3 t	2.2 t (-4.3%)	2.0 t (-13.0%)	302.3%
	生活系 総排出量	21,010 t	19,897 t (-5.3%)	18,120 t (-13.8%)	260.4%
	1 人当たりの排出量	211 kg/人	200 kg/人 (-5.2%)	166 kg/人 (-21.3%)	409.6%
合 計 事業系生活系総排出量合計	31,270 t	29,628 t (-5.3%)	25,654 t (-18.0%)	339.6%	
再生利用量	直接資源化量	1,258 t (4.0%)	1,536 t (5.2%)	2,128 t (8.3%)	358.3%
	総資源化量	6,339 t (20.0%)	6,579 t (21.9%)	6,681 t (25.8%)	305.3%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	—	—	—	
減量化量	中間処理による減量化量	— (—%)	— (—%)	— (—%)	—%
最終処分量	埋立最終処分量	1,448 t (4.6%)	1,384 t (4.7%)	150 t (0.6%)	2028.1%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 28 年度)	目 標 (令和 5 年度) A	実 績 (令和 5 年度) B	実績B /目標A
総人口	84,539 人	81,338 人	81,760 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口 26,809 人 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 31.7 %	32,107 人 39.5 %	37,967 人 46.4%	118.2% 117.5%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 3,432人 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 4.1 %	3,390 人 4.2 %	4,073 人 5.0%	120.1% 119.0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 22,215人 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 26.3 %	25,311 人 31.1 %	26,213 人 32.1%	103.6% 103.2%
未処理人口	汚水衛生未処理人口 32,083 人	20,530 人	13,507 人	160.8%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制 、再使用 の推進に 関するも の	11	ごみ減量・再資源化 への啓発活動	中津市	環境教育の実施。情報発信の実 施。事業者全体にごみ減量等 に関するチラシの配布。	平成30年～令和4年	ごみ処理施設見学の受入れ、及 び小中学生を対象に環境学習会 を実施した。 事業者には出前講座時、ごみ減 量等に関する啓発を実施した。
	12	ごみ袋有料化の検討	中津市	ごみ減量施策の進捗状況や市民 の意見を踏まえ、引き続き慎重 に検討を行う。	平成30年～令和4年	令和4年9月からごみ袋有料化を 実施した。

13	容器包装廃棄物の排出抑制	中津市	スーパーマーケット等での簡易包装の推進。「マイバッグキャンペーン（買い物袋持参運動）」の実施。	平成30年～令和4年	中津市公式ホームページにおいて簡易包装の推進を継続している。 令和元年度までフリーマーケット開催時にマイバッグキャンペーンを実施した。（令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）
14	庁用品における再生品の使用の推進	中津市	庁用品における再生品等の使用を推進。	平成30年～令和4年	コピー用紙等の庁用品において再生品使用の推進を継続している。
15	助成事業の継続	中津市	生ごみ処理容器等の購入に対する助成。各種団体による資源回収に対する助成。	平成30年～令和4年	生ごみ処理容器等の購入に対する助成及び資源回収団体に対する助成を継続している。 令和3年7月から生ごみ処理器キエーロの販売補助を開始した。
16	生活排水の対策	中津市	広報活動、排出抑制用品の普及、無リン洗剤やせっけんの使用等、汚濁負荷量の削減のため、啓発活動の強化。	平成30年～令和4年	生活排水に関する啓発活動を浄化槽の日に合わせたケーブルテレビの出演や市報での記事掲載、公民館祭りやアースデイ等のイベントに参加して、生活排水に関する展示を実施した。

処理体制の構築、変更に関するもの	21	生活系ごみの処理体制の現状と今後	中津市	中津市クリーンプラザの稼働年数を延長するため、大規模な改修の実施。焼却飛灰のセメント原料化の実施。	平成30年～令和4年	基幹改良工事実施による、処理施設の延命化が図られた。また、焼却飛灰のセメント原料化を実施した。
	22	事業系ごみの処理体制の現状と今後	中津市	資源化が可能な紙類の受入停止の継続。多量排出事業者に対するごみ減量化計画の提出を促す。	平成30年～令和4年	事業系古紙類受入停止を継続。特定建築物所有事業者及び大規模小売店舗に対してごみ減量化計画の提出を依頼した。
	23	一般廃棄物処理施設で合わせて処理する産業廃棄物の現状と今後	中津市	条例に基づいた取扱いの継続実施。	平成30年～令和4年	一般廃棄物処理基本計画の中間見直し（令和3年7月）により産業廃棄物の処分は脱水汚泥に限定した。

	24	生活排水処理の現状と今後	中津市	合併処理浄化槽設置の推進。上乗せ補助等の施策の継続実施。	平成30年～令和4年	<p>既存の上乗せ補助の施策に加えて、令和2年度より単独処理浄化槽撤去補助及び単独処理浄化槽からの転換工事を対象とする宅内配管補助の施策を制定した。</p> <p>令和4年度からはくみ取り便槽撤去補助及び宅内配管補助の対象を汲み取り便槽からの転換工事も対象とする施策を制定した。</p> <p>単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を推進した。</p>
処理施設の整備に関するもの	1	廃棄物処理施設への先進的設備導入事業	中津市	既存施設の継続利用及びCO2排出量削減、処理能力増強	令和2年～令和4年	安定的・効率的な処理を継続するため、ごみ焼却施設の基幹的設備改良およびCO2排出量削減の工事を実施した。
	2	合併処理浄化槽整備事業	中津市	浄化槽設置整備事業により、合併処理浄化槽の整備を推進する。	平成30年～令和4年	実施期間中の浄化槽設置整備事業で設置した浄化槽は772基設置し、水洗化人口が2,455人増加した。

施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	中津市	生活環境影響調査、発注支援、実施設計。	平成30年～令和2年	廃棄物処理施設の整備に伴う生活環境影響調査、発注支援、実施計画を実施した。
廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援に関するもの	32	長寿命化総合計画策定事業	中津市	長寿命化総合計画策定支援。	平成30年	廃棄物処理施設の長寿命化総合計画を策定した。
その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	中津市	特定家庭用機器再商品化法や資源有効利用促進法に基づく、適切な回収、再商品化がなされるよう、関係団体や小売店などと協力して普及啓発を行う。	平成30年～令和4年	廃家電のリサイクルに関しては中津市公式ホームページにより適正な処理方法の周知啓発を行った。
	42	不法投棄対策等の強化	中津市	不法投棄監視員によるパトロールの強化。自治会・郵便局・大分県電機商業組合・九州電力などと連携した情報収集。	平成30年～令和4年	シルバー人材センター及び地元自治会と連携し、不法投棄監視の強化を継続している。

	43	災害時における各所との連絡体制の構築	中津市	「中津市災害廃棄物処理計画（平成29年度策定）」を踏まえた、地域内及び周辺地域との連携体制の構築。	平成30年～令和4年	中津市災害廃棄物処理計画に基づき、地域内及び周辺地域との連携体制を構築した。
--	----	--------------------	-----	---	------------	--

3 事業実施による二酸化炭素削減効果について

(1) 削減量（実績）

基幹改良事業令和4年度（令和5年3月末）に終了

実績：令和5年4月1日～令和6年3月31日

基幹改良工事によるCO₂削減率 16.31%

別紙「CO₂削減整理シート」参照

~~(2) 削減量に達しなかった場合の原因~~

（（1）の削減量（実績）が、延命化計画又は同様の内容を含む他の計画において算定した二酸化炭素削減量に達しなかった場合に、その原因を分析し、その結果を詳細かつ具体的に記入する。（上記計画において算定した二酸化炭素削減量に達した場合は、記入を要しない。））

4 目標の達成状況に関する評価

(ごみ処理)

1 排出量

- ・事業系総排出量：
令和5年度実績値は7,534トンであり、同年度目標値9,731トンを下回っていた。よって、目標は達成することができた。
- ・事業系1事業所当たりの排出量：
令和5年度実績値は2.0トン/事業所であり、同年度目標値2.2トン/事業所を下回っていた。よって、目標は達成することができた。
- ・家庭系総排出量：
令和5年度実績値は18,120トンであり、同年度目標値19,897トンを下回っていた。よって、目標は達成することができた。
- ・家庭系1人当たりの排出量：
令和5年度実績値は166kg/人であり、同年度目標値200kg/人を下回っていた。よって、目標は達成することができた。
- ・事業系家庭系総排出量合計：
令和5年度実績値は25,654トンであり、同年度目標値29,628トンを下回っていた。よって、目標は達成することができた。

2 再生利用量

- ・直接資源化量：
令和5年度実績値は2,128トンであり、同年度目標値1,536トンを上回っていた。よって、目標は達成することができた。
- ・総資源化量：
令和5年度実績値は6,681トンであり、同年度目標値6,579トンを上回っていた。よって、目標は達成することができた。

3 最終処分量

- ・埋立最終処分量：
令和5年度実績値は150トンであり、同年度目標値1,384トンを下回っていた。よって、目標達成することができた。

~~※目標未達成の項目については、改善計画書(別添参照)を作成した。~~

(排水処理)

処理形態別人口

- 公共下水道の汚水衛生処理率：
令和5年度実績値は 46.4%であり、同年度目標値 39.5%を上回っていた。よって、目標達成することができた。
- 集落排水施設等の汚水衛生処理率：
令和5年度実績値は 5.0%であり、同年度目標値 4.2%を上回っていた。よって、目標達成することができた。
- 合併処理浄化槽等の汚水衛生処理率：
令和5年度実績値は 32.1%であり、同年度目標値 31.1%を上回っていた。よって、目標達成することができた。
- 未処理人口（汚水衛生未処理人口）：
令和5年度実績値は 13,507人であり、同年度目標値 20,530人を下回っていた。よって、目標達成することができた。

~~※目標未達成の項目については、改善計画書（別添参照）を作成した。~~

(都道府県の所見)

(ごみ処理)

循環型社会形成推進地域計画に基づき、ごみの発生抑制及び処理施設の整備等の施策が着実に実行され、事業系ごみ及び生活系ごみの排出量の減少、再生利用量の増加、最終処分量の減少について目標が達成されており、循環型社会形成に成果を上げている。引き続き、廃棄物の資源化に係る取組みや適切な施設の維持管理を期待したい。

(生活排水処理)

公共下水道・集落排水施設等・合併処理浄化槽等の污水衛生処理人口及び処理率並びに未処理人口について、設定した目標値を達成している。浄化槽に関しては、令和2年度に単独処理浄化槽からの転換に係る宅内配管工事費補助、令和4年度にくみ取り槽からの転換に係る撤去費・宅内配管工事費補助を導入しており、国の制度新設に即座に対応したことが転換基数の増加につながったと考えられる。また、市報やケーブルテレビによる広報だけでなく、地域イベントや戸別訪問により住民に直接生活排水対策の呼びかけを行うなど積極的な広報・啓発活動を展開している点も評価できる。

今後も生活排水処理施設の効果的・効率的な整備を進め、循環型社会形成の推進に寄与することを期待する。

(技管協の所見)

施策種別：処理施設の整備に関するもの

事業番号：1

施策の名称等：廃棄物処理施設への先端的設備導入事業

中津市は環境大臣の承認を受けた循環型社会形成推進地域計画等に基づくエネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業として、廃棄物処理施設技術管理協会から補助金を受けて事業が令和4年度（令和5年3月末）に改良工事が終了し、1年間が経過した。

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

今回、CO₂削減の目標達成状況は以下の通り

基幹改良工事による年間CO₂排出削減量 244.17 t-CO₂/年（実績）

年間CO₂排出削減率 16.31%（目標値 6.3%程度）

当初目標の年間CO₂排出削減率6.3%を上回って、16.31%で目標達成することができている。

今後も善良な管理者の注意のもと、補助金の交付の目的に従ってその効率的な運用を図られることを期待したい。